

スタートカリキュラムの見直しを職員全体で ～ 淵野辺小学校でスタートカリキュラム研修会～

新入児の受け入れの準備が、各校で行われています。

2月7日(水)には、淵野辺小学校で、東海大学 児童教育学部 准教授 寶來 生志子先生を講師とし、「子どもの育ちと学びをつなぐ架け橋期の教育の充実」をテーマとして、幼保小連携研修会が行われました。

園での学びを大切に、10の姿を踏まえ、生活科を中心とした合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定に配慮した第3ステージのスタートカリキュラムと呼ばれる新しいスタートカリキュラムについて連携園の先生も招待し、共に学びました。

新しいスタートカリキュラムとは？



子どもに聞こう



「やってみたい」を大切に



同じ場面を見て、「どう感じましたか?」「先生だったら子どもにどのように声をかけますか?」との寶來先生からの問いかけを受け、近くに座った職員同士で話し合ったり、発表したりする場面も。園の先生と小学校の先生との声のかけ方を知ることで互いの教育・保育についての新たな気づきがありました。

淵野辺小学校区では、本研修会の他、小学校の夏休み期間中に、職員が園の保育参観をしたり、学校で行われている校内研究授業及び協議会に連携園の職員を招待して一緒に考えたりする等、園と学校とで一緒に教育・保育について学び合っています。

【淵野辺小学校区連携園】

愛の園ふちのべこども園、上矢部保育園、にじいろ保育園淵野辺、認定こども園ひばりっ子クラブ(淵野辺ひばり幼稚園)、淵野辺わんぱく園、夜間保育所ドリーム、Y M C A オベリン保育園

「さがみはら幼保小架け橋プログラム・カリキュラム作成ガイド」を発行しました
～ 架け橋期の教育・保育にぜひご活用ください～

幼保小の架け橋プログラムや架け橋期のカリキュラムの参考資料として、「さがみはら幼保小架け橋プログラム・カリキュラム作成ガイド」を発行しました。市内で行われている連携の事例や架け橋期のカリキュラムの作成事例等を掲載しています。各園、学校に送付している他、相模原市のHPにも掲載しています。ぜひご一読いただき、次年度以降の連携にもご活用ください。



16ページには、6月の幼保小連携研修の協議で市内の先生方から生まれたキーワードを一部掲載しました。「安心感」、「子どもの声・思い・表情」、「やりたいを大切に」、「できたことを伸ばしていく」、「3月の園児の姿を参観」など、入学前・入学当初に大切にしたいキーワードもたくさんありますね。